

## 第5回 福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会

### 会 議 録【概要版】

【日 時】 令和4年12月22日(木) 15:00~17:00

【場 所】 福知山市厚生会館 中会場

【出席者】 (委 員) 12名

(事務局) 地域振興部 大西部長

文化・スポーツ振興課 森田次長 西村担当課長 西村課長補佐

増田主事 阪本主事

シアターワークショップ 伊東、佐藤、真木、

石井、長谷川(オンライン)

(関係課) 建築住宅課 中川次長

都市・交通課 芦田担当課長

1 開 会

2 開会挨拶

3 協議事項

(1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認

(2) 基本構想(案)の確認

(3) WSの報告

(4) 基本計画(案)検討の進め方

(5) 施設機能の検討

4 その他

5 閉会

#### 【議事】

(1) 前回委員会のまとめと質問事項の確認

○事務局より説明

(2) 基本構想(案)の確認

○事務局より説明(パブリックコメント意見について)

委員 : 提出の方法は郵送・FAX・メール・直接提出のどれが多かったのか。

事務局 : 直接が最も多く、次に電子申請が多かった。

委員長 : パブリックコメントの意見と基本構想(案)の内容について、他に意見はないか。

基本構想(案)の内容についてはこれでよいか。(異議なし)意見が一致したので、基本構想(案)の検討については以上とする。

### (3) WSの報告

#### ○事務局より説明

委員 : トナカイグループの意見「アドバイザー制度を確立して意識の共有をしておかなければ運営が難しい」とあるが、これはどういう意味なのか。市民の意識を確立するためにアドバイザー制度を確立するという意味か。アドバイザーは影響力が大きいのではっきりさせておいた方がよい。

事務局 : 意見のまとめでは出された意見をできるだけ忠実にそのまま掲載している。言葉の使い方など必ずしも正確とは言えない可能性はある。どのように解釈すべきかは委員会に委ねたい。

委員長 : ワークショップで、意図が分からない意見がある場合、相反する意見がある場合などについて解釈する側の問題となると、どう具体化できるかというところに繋がっていかない。各自の意見発表にとどまらず、課題を共有し内容が深まる運営を考えてほしい。

事務局 : 高校生ワークショップを実施する予定。

委員長 : ファシリテーターは専門的な立場から意見の意図を把握しておくべき。

委員 : ワークショップはどのような形式で実施していたのか。

事務局 : それぞれのグループにシアターワークショップのスタッフがファシリテーターとして関わっていた。

委員 : ワークショップでは、対話しながら意見を掘り下げられると良い。京都芸大では感想シェア会というものを行っており、ファシリテートを勉強した担当者が感想を引き出している。そういった方がファシリテートできると良いのではないか。

委員 : 現状、ワークショップは意見陳述になってしまっている。今後のワークショップでは、具体的にどのように進めるかを明確にすべき。

### (4) 基本計画(案) 検討の進め方

#### ○事務局より説明

委員 : パブリックコメントに対する市の意見、6-2ページのNo.2で「高校生・大学生へはヒアリングやワークショップ等を実施し、基本計画に反映する予定です。」とあるが、高校生・大学生ワークショップ、ヒアリングはいつ実施するのか。

事務局 : 大学生ヒアリングは12月13日に実施済である。高校生ワークショップは日程調整をしており、1月中に実施する予定で進めている。

委員長 : 高校生ワークショップは一つの高校に対して実施するのか、複数校から参加者を

募るのか。

事務局：ホールをよく利用している吹奏楽部等がある学校に集まってもらうことを考えている。

## (5) 施設機能の検討

### ○事務局より説明

委員長：まずは機能について意見を伺いたい。ホール客席を固定席にするか、可動席にするか、展示対応できるようにするかどうかに関わってくる。

パブコメの意見では、固定席希望が多いように思われた。現状の大ホールでは展示の際に 450 m<sup>2</sup>とれる。現在の厚生会館が整備された際の時代背景と今後ホールとして必要な機能は何かといった視点での検討が必要。展示機能を客席部分で確保する必要があるのかを確認したい。広いリハーサル室はじめ、ロビーやホワイエも利用して施設全体で展示スペースがとれれば良いのか。

また、25p のホール形式の種別比較で、音響環境も評価軸として追加した方が良い。舞台の見やすさについても一つの評価軸としてある。すべてを段床席にすれば見やすくなるが、すべてを段床にすることはできないかもしれない。

避難所としてみると、段床席では寝転ぶことができない。そういった観点では、平土間になる方が良い。

委員：客席を固定席にするかどうかを議論する前に、展示がよく行われているという現状を顧みて、毎年開催されている市展等は他の施設での実施が可能なのか。

事務局：展示については代替施設を利用必要がある。市民交流プラザを利用するなど、分散配置で開催することも考えられる。また、三段池の武道館、体育館等も平土間利用が可能であるため、展示はそれらの施設を利用することも可能である。

委員：武道館や体育館での展示の実績はあるのか。

事務局：美術展等はあまり開催されていないが、産業フェア等は開催実績がある。三段池のサブアリーナでは中丹の写真展が行われている。

委員：展示機能の代替は可能ということか。

事務局：可能である。

委員：可動席という意見が出るのは残念である。福知山には音楽ホールがない。様々なホールで鑑賞、利用してきたが、福知山には素晴らしい施設がない。ワークショップでも同じような意見を持った方が参加していた。固定席で鑑賞に適したホールをつくってほしい。

委員：文化協会の立場からすると、展示関係の団体もいるが、個人の意見としては新文化ホールについては、固定席が良いと考えている。綾部の市展は、日東精工アリーナで展示を行っている。中丹連絡協議会の写真展は三段池のサブアリーナで行った。展示は代替が可能。創造機能に展示が可能な設定をして、ホールは固定

席としてほしい。

委員 : 市展よりも市内小中学校の美術展示の方が動員が多い。雨漏りで厚生会館を利用できなかった時に、三段池公園で展示利用したが、十分対応可能だった。美術館のような雰囲気がないため工夫は必要。

委員長 : 創造活動機能 44 p の基本的な考え方に、市民の日常的な創造・発表活動を支える機能とあるが、一つ目の箇条書きで防音性能を備えたスペースとあるが、それ以降の箇条書きの内容とは関係がなく、舞台と同規模の広さでリハーサルが行えることが重要であるという理解で良いか。

事務局 : ご理解の通り。

委員長 : 55p に創造活動機能で必要と考えられる意見が提示されている。展示スペースは、「現在の厚生会館の平土間部分 (450 m<sup>2</sup>) を確保する」とあるが、それが条件となるのか。

事務局 : 可能な限り確保するという考え方。

委員長 : 450 m<sup>2</sup>はかなりの規模であるため、表現を考えた方が良い。

委員 : 新文化ホールはこの地域の文化的中心施設になるということが大きな考え方としてあるのではないか。ロールバックの客席で音響、舞台設備が良い施設を見たことがない。固定席できちんとして、トップレベルの音響、照明設備を備えた方が良い。今までの活用方法から考えていたのでは、つまらないものしかできない。ただ、市として展示については、別の場所に対応するという方針をきちんと出さないと、展示系の活動をやっている人からは満足されないだろう。今回の新文化ホールの議論とは別に展示についても市として方針を示すべき。

委員長 : 市の中核施設というだけでなく、地域の中核施設であるという意気込みも示して欲しい。

委員 : 固定席が良いと思うが、文化振興基本方針の中で、美術、写真等も振興するとある。新文化ホールで展示のことも考えるという想定があったのか、別途検討される予定があるのか、市の考え方を知りたい。大学にも展示スペースがあるが、展示はいろいろなスペースでできると感じている。舞台芸術はホールの環境が整っていないとできない。京都では、使われなくなった学校を利用して展示会が行われているという例もある。

事務局 : 小規模な展示は市民交流プラザのギャラリー、市民交流スペースを利用していたく想定。市展は、運営委員会という組織があり、委員会の中で意見交換している。構成員からは、体育館を利用することも提案されており、小中学校と連携し、より多くの方に来場いただくことを検討している。

委員 : 本日いただいた意見を踏まえて、市展の運営委員会で議論する。

委員長 : 交流機能についてはどうか。

委員 : 交流機能で5つ挙げられているものは最低限必要である。

- 委員 : 16p 第5回ワークショップの事業の企画・推進役に取り上げられているアイデアで小中高校生に関する意見は、58pの交流・憩いのスペースに関連すると思われるが、示されている交流活動機能の中では意見が反映されていないのではないか。
- また、新文化ホールの管理機能について、具体的に誰が管理するのか。指定管理者制度で財団に任せるのか。市内に指定管理をできるような事業者がいるのか。コンセッション方式等で複数の法人に管理させることも想定されているのか。
- 事務局 : 一点目、第5回ワークショップについて、大学生に参加してもらっていた。大学生が出してくれた意見をそのまま掲載している。具体的な機能については施設計画で検討していくものと想定している。
- 管理運営について、基本構想の33pに示している。現段階では今後検討していくものとしている。
- 委員 : 16pの意見は事業に関する意見で58pはスペースのことである。交流機能を市が積極的に推進し、どのように事業化していくかが求められる。いわきのアリオスでは、そういったことをコミュニティ事業として行っている。通常の指定管理ではそこまでできない。
- 委員 : コミュニティプログラムの企画は、時間と労力と根気が必要。市民とコミュニケーションをとれる専任の担当者が必要。指定管理にする場合、人員の配置を仕様書で明記する必要がある。

#### 4 その他

次回検討委員会：令和5年1月25日（水）午後14:00～午後16:00

場所：福知山市厚生会館中会場

#### 5 閉会

以上